

## ○人身安全対処事案について

### Q1. 神戸

先日、千葉県で発生した心愛ちゃんの事件は、政府も深刻な問題ととらえ、緊急で対策を取るなど児童虐待防止への動きが一気に進むこととなりました。心愛ちゃんが亡くなってしまったことは本当に残念ですが、児童虐待と同時に父親から母親へのDVもあり、そのことも今回の事件の要因の一つとなりました。

先日の報道によりますと、全国の警察が昨年1年間に認知した刑法犯は、戦後最少を4年続けて更新するなど、街頭犯罪や侵入犯罪の減少が続いており、官民連携した防犯対策などが成果を挙げたとありました。

しかし他方では、私の身近でもDV被害を受けている方の話は聞きますし、警察庁から昨年のDV被害については、過去最高を更新したとも公表されており、大変憂慮しております。そこでお尋ねします。

県内におけるDVなどの人身安全対処事案の発生状況についてお聞かせください。

### A1. (子ども女性安全対策課長答弁要旨)

県警察では、DV、ストーカー、児童虐待など人の生命に急迫した危険が及ぶおそれがあり、早急に対処する必要性が認められる事案を「人身安全対処事案」として、警察本部と警察署が連携して迅速かつ的確な対応をしております。

県内における人身安全対処事案の認知状況は、昨年中は16,350件となり5年前と比べて約1.5倍に増加しております。主な態様別では、DVや児童虐待は、増加傾向が顕著となっており、5年前と比べてDVは約1.8倍の4,273件、児童虐待は約2.8倍の4,280件を認知しております。

また、ストーカー事案は、1,177件となり一昨年より若干減少したものの、5年前に比べ約1.2倍に増加しております。

### Q2. 神戸

DVは夫婦間や恋人同士で起こるものです。昔は「夫婦喧嘩は犬も食わない」と言われており、他人は介入しないという風潮でしたが、今は暴力がエスカレートし誰かが止めないと危険な状況になるケースもあり、暴力は明らかに許されるものではありません。

DV事案への対応は、非常に難しいと思います。家庭内で行われるこ

とが多いため、発見や対応が遅れてしまう、DVの夫は暴力を振るった後、極端に優しくなったりと変貌するので、自分さえ我慢すればと訴えなかったりと事件になりにくい面もあります。平成19年に長久手で起こった立てこもり事件をご存知でしょうか。夫からのDVで逃げていた妻を呼び出し、そのまま妻を人質にして立てこもった事件です。救出に向かった警察官が銃で撃たれて亡くなりました。全国ニュースにもなり、私も一般質問で取り上げました。

このように対応を誤ると周りまで巻き込んで、命が奪われるという可能性もあり、実際に業務に当たって見える警察官の方は大変、苦慮されていることと思います。そこで質問させていただきます。このような危険性を有するDVなど人身安全対処事案の処理に当たる場合、どのように対応されているのかお尋ねします。

## A2. (子ども女性安全対策課長答弁要旨)

県警察では、平成26年4月から、警察本部子ども女性安全対策課内に24時間対応の人身安全対処体制を構築し、警察署においても所要の人員を増強するとともに、警察署長を対処責任者とする体制を確立し、警察本部と警察署が連携して対応をしております。

また、警察署で人身安全対処事案の相談等を受理した場合は、被害者の保護を最優先に、その危険性・切迫性を判断し、指導・警告等の措置や刑罰法令に触れる行為がある場合は、加害者を検挙するなどして最悪の事態の発生を防いでおります。

なお、その際には、警察署長及び警察本部へも速やかに報告させることにより、組織的対応を図っております。さらに、報告を受けた警察本部では、事案の危険性・切迫性を警察署と共に複眼的に判断し、警察署に対して対処方針の指導を行うほか、事案の緊急性や当該警察署の体制を踏まえ、必要に応じて本部員を現場へ派遣するなど、警察署を支援しております。

## Q3. 神戸

このような夫婦間や恋人同士のDVだけでなく、ストーカーや児童虐待をはじめとした各種虐待事案についても、以前に比べて増加していると伺っています。ストーカーは一方向的な恋愛感情による相手の気持ちを無視した身勝手な行動であり、虐待は支配関係にある者が弱者に対してなされるもので、被害者の方のことを考えるとこんな理不尽なことは決して許されることではありません。こうしたDV、ストーカー、児童虐待への対策は社会全体の喫緊の課題であり、今後しっかりと対応してい

かなければならないと考えます。

幸い、当県では最近こうしたDVや虐待など人身安全対処事案等の重大事件の報道がないため、この種の事案が減少しているのではと思ってしまいますが、先ほどの答弁で決して減っているわけではないと伺いました。

ということは、人身安全対処事案に対して、通報や認知の時から積極的に関わり、それなりの対応をされているからこそ、大事件に発展していかないのではないかと、思います。

そこでお尋ねします。特にDV事案について、被害者保護や他機関との連携を含めた具体的な対応についてお聞かせください。

### A 3. (子ども女性安全対策課長答弁要旨)

委員お示しのとおり、DVについては、被害者が自分さえ我慢すればと訴えなかったり、また、家庭内で起こることが多いため表面化しにくいという特徴があります。県警察では、DVを認知した際には、被害者保護を最優先に考慮し、避難措置や保護対策を行うとともに、必要に応じて事件化等の措置をとっております。

具体的に申しますと、避難措置としては、加害者の知らない場所への避難を勧めるとともに、適当な避難先がなく緊急を要する場合は、市町村や女性相談センターに一時保護を要請したり、公費による宿泊場所への一時的避難などの措置をとっております。

保護対策としては、被害者が危険を感じて110番通報した際に、事案概要を組織的に把握し迅速な対応が可能となる「犯罪被害者等110番即応システム」への登録を促したり、危険がないと判断されるまで、警察から被害者に対して定期的に連絡をして現況を確認するなど、被害者保護を徹底して再発防止に努めております。

また、危険性を判断して、警告等の措置や事件化を行うのですが、中には被害者自身が被害届の提出を頑なに拒むケースもあり、そういった場合でも危険性が切迫している場合には、捜査員が粘り強く被害者を説得して事件化するなどにより被害者の安全確保を図っております。

加えて他機関との連携についてであります。県が開催する愛知県DV被害者保護支援ネットワーク会議等に参画するとともに、県警察においてもストーカー・DV等関係機関連絡会議を主催し、女性相談センターや裁判所等と連携を図ることにより、シェルターへの避難や接近禁止などの保護命令の情報共有などが適切に行われるよう努めております。

いずれにいたしましても、今後ともDVへの対応に当たっては、被害者の安全確保を最優先として適切に対応してまいります。

#### Q4. 神戸

今後、県警察として人身安全対処事案に対して、どのように取り組んでいかれるのか、生活安全部長にお聞きしたいと思います。

#### A4. (生活安全部長答弁要旨)

人身安全対処事案につきましては、現在、子ども女性安全対策課の附置機関である人身安全対策室が中核となりまして、対応を行っているところであります。増加しているこの種事案に対しまして、より迅速かつ的確な対応をするため、人身安全対策室を格上げして、この種事案を専従として扱う人身安全対策課を今年4月に新設することとしております。

県警察といたしましては、今後、同課を中心といたしまして組織を挙げて、被害者の安全確保を最優先として、関係機関との連携を密にしつつ、警察の執りうる措置を確実に行うことにより、DVを始めとする人身安全対処事案が重大な事件に発展しないよう、適切な取組を進めてまいりたいと思っております。

#### (要望) 神戸

今、お聞きしたところ、改めて増加の一途をたどっている人身安全対処事案に対し、認知の時から警察が積極的に対応していることを伺い、大きな事件にならないよう未然に防ぐことが出来ていることが分かりました。

私がDV問題を取り上げた頃は、男性議員から「そんな夫からはさっさと逃げて離婚すればいい。いつまでも一緒にいるからいかんのだ。」という声が聴かれ、逃げない妻の方が悪いのだという社会全体もそんな風潮でした。しかし、一番悪いのはDVや虐待の加害者側なのです。

長久手の事件を取り上げた時、海外での対応方法も調査しました。そこには日本と海外の大きな違いがあったのです。それはDVを起こした加害者に対して、カウンセリングを行い、入院・治療などを更生プログラムに従って行うというものでした。その時にも提案しましたが、その間の仕事が休めない、そこまでの拘束は出来ないなど取り上げてもらう事は出来ませんでした。

しかし、これだけ人身安全対処事案が増えている今、起こった事案に対処しているだけでは、どれだけ警察の方が頑張っても追いつかなくなってしまうのではないのでしょうか。児童虐待の親は引っ越しを繰り返し、児童相談所の管轄を逃れてしまう例が後を絶ちませんし、DV事例もその夫婦が一時は接近禁止になって離れても、また追跡して事件が起こっ

たり、相手が変わったりして再発する可能性は大です。

これは警察だけではどうにもなりません、他局と協力し合って、加害者対応に視点を移し取り組んでいかないと、重大事件の防止にならないと考えているところですが、警察職員の皆様には引き続き、未然防止への対応をお願いすることを要望して質問を終わります。